

あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



家族らと長寿を祝うヤヨさん(前列中央)

小袖 ヤヨさん (宇部町) 海女で鍛えた心と体

10月6日に100歳の誕生日を迎えた小袖ヤヨさん。9日、遠藤謙一市長が自宅を訪問し、お祝い状と祝い金が手渡され、家族や親戚みんなで長寿を祝いました。

ヤヨさんは、畳に正座し自分一人で立ち上がれるほど健康。今でも家付近の草取りや家の掃除を毎日するそうです。「昔海女をやっていたので、体が丈夫なのかもしれませんね」と長寿の秘訣を話してくれました。

世界のJUDOを体感

NEWS

リトアニアナショナルチーム選手交流事業



子どもたちと一緒に稽古する2選手

リトアニアナショナルチームの柔道選手2人が、10月6、7日の両日に久慈市を訪問。カロリス・パウザさんとサンドラ・ヤブロンスカイテさんは、6日に三船十段記念館を見学した後、道場で小中高生ら約75人に得意技を熱心に指導しました。参加した子どもたちは、日本では教わるのが稀な技に興味津々。乱取り稽古では2選手の力強さに圧倒されていました。

倒されていました。7日には市内の観光施設を見学。サンドラさんは「記念館では柔道の歴史を学ぶことができました。チームのメンバーにもぜひ見てもらいたい。道場も設備が良く、日本・久慈は柔道を習うのにとても良いところ。子どもたちも柔道がすぐうまかったです」と柔道のまち久慈に感銘を受けていました。



熱心に指導するカロリスさん(右)

みんなが活躍できる地域をつくる

NEWS

地域でつくるみんなの元気大交流会



90歳以上の百歳体操参加者を紹介

10月17日、アンバーホールで岩手県と久慈市の主催による「地域でつくるみんなの元気大交流会」が開催され市民約600人が参加しました。交流会の冒頭では「いきいき百歳体操」に90歳以上で参加している人たちの紹介・表彰が行われました。当日の参加者の中で最高齢の石川キクエさん(94歳)が紹介されたと会場からは驚きの声があがりました。現在市内では61団体を週1回以上実施しています。表彰に続いて「認知症ととも生きるために」をテーマに和歌山県御坊市の谷口泰之

係長が講演。御坊市の事例を交えながら、みんなが活躍できる地域づくりについて話しました。谷口係長は「自分事として、認知症の人と何ができるかを考えることが重要。認知症になっても希望を持ち安心して暮らせる地域をつくらせていきましょう!」と会場にエールを送りました。昨年に引き続き、百歳体操をきっかけに誕生したチアダンスグループ「久慈ボンボン」がダンスを披露。昨年よりパワーアップしたダンスに会場は今日一番の盛り上がりを見せました。この大会は、運営にもシニアが大活躍しました。パンフレットや題字の作成、写真撮影なども百歳体操参加者が担当。まさに地域でつくれた元気な大会となりました。



踊りを2曲披露した「久慈ボンボン」

災害対応や産業などの交流を誓う

NEWS

栃木県大田原市と災害時相互応援に関する協定を締結

10月18日、久慈市と栃木県大田原市は「災害時相互応援に関する協定」を締結。大田原市との交流は、津久井富雄大田原市長が侍浜町の木質バイオマスエネルギー施設の視察に訪れたことで始まりました。この協定の内容は災害時に、要請により、生活必需品の提供や資機材の支援、職員の派遣などを行うものです。当日は、大田原市市民交流センターで遠藤謙一市長と津久井市長が協定書に調印し、固く握手を交わしました。遠藤市長は「久慈市は、近年2回の大きな災害にあった。その経験から、何かあったときは助け合うことが早期復旧に欠かせないと痛感しました。協定を機に防災だけでなく、人の交流もできればと考

えています」とあいさつ。続いて、津久井市長は「距離が離れた地域ですので、大きな災害時でも、どちらかが助けに行くことができます。産業文化交流など、地理的に離れていても心は一つにして、力を合わせていきましょう」と応えました。県外の単独市町村との防災協定は新潟県小千谷市、東京都小金井市、三重県明和町に続き4番目の締結となります。



協定書を掲げる遠藤市長と津久井市長(右)

災害時の対応や連携を訓練

NEWS

久慈市総合防災訓練



傷病者の救出訓練

10月21日、久慈市総合防災訓練が実施され消防関係者ら約500人が参加しました。総合福祉センターでは避難所開設・運営訓練が行われ、幸町と湊地区の自主防災組織が避難者名簿作成訓練などを実施。また、婦人消防協力隊による炊出し訓練も実施されました。訓練では、段ボールベットやプライバシーを守るためのパーテーションなども設置され、大雨・洪水など緊急時の対応について確認しました。幸町自主防災会の奥寺文夫さんは「地域での訓練が活かされ、素早い行動ができました。さらに訓練を重ね、アドバイスできるような組織

になければ良いなと思っています」と訓練の重要性を話していました。市役所では防災関係機関による火災防ぎょ訓練や救助・救出訓練などが行われ、川崎町の自主防災組織や消防団、久慈消防署、久慈病院DMATが参加し、火災発生時の対応や連携について訓練しました。また、屈折はしご車による救出訓練も実施されました。統監の遠藤市長は「全国的に大きな災害が多発しています。東日本大震災や台風10号災害で経験したように、大きな災害時は、市役所や消防署、消防団の対応だけでは限界があります。個人・地域・行政が連携し、防災を行うことが重要です」と力を込めました。



自主防災会で避難者を受付

二戸★トピックス

二戸の工業手仕事展

二戸地域の風土や暮らしの中で培われた伝統の技、地元で育まれた手工芸の技術を間近でご覧頂けます。

- ▶日時…11月24日(土)～25日(日) 10時～16時(最終日は15時まで)
- ▶会場…二戸広域観光センター なにゃーと メッセホール (二戸市石切所字森合68)
- ▶内容…

- ・工芸品展示即売、工芸品製作の実演
 - ・体験教室：五角ばし手作り体験、裂織り
 - ・参加店協賛による抽選会
- 問二戸市ふるさと振興係
☎0195-22-4395

